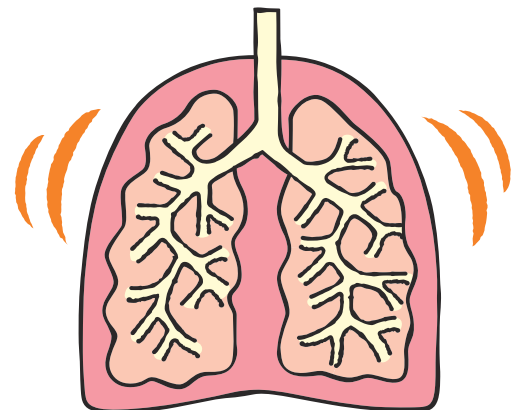


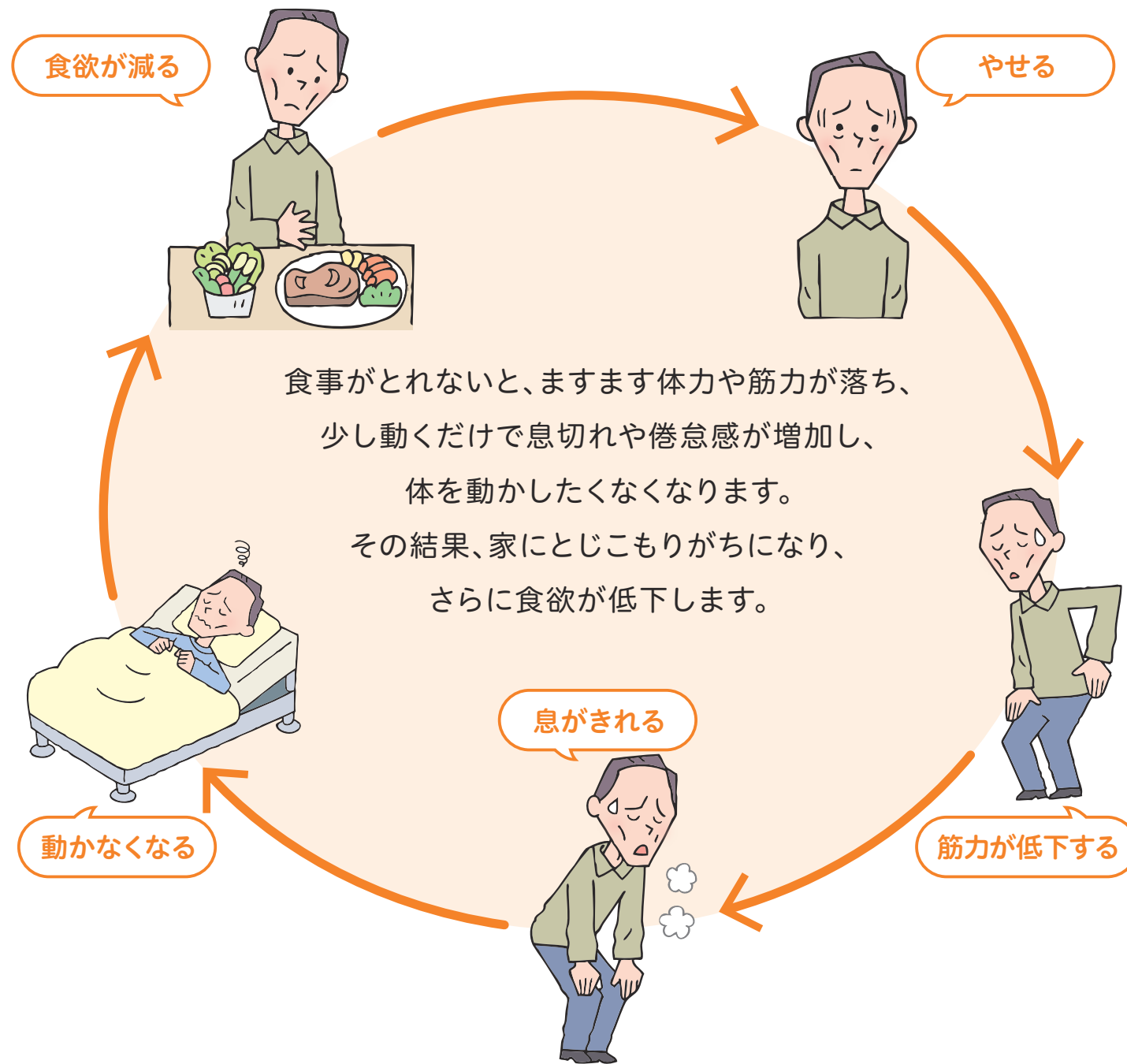
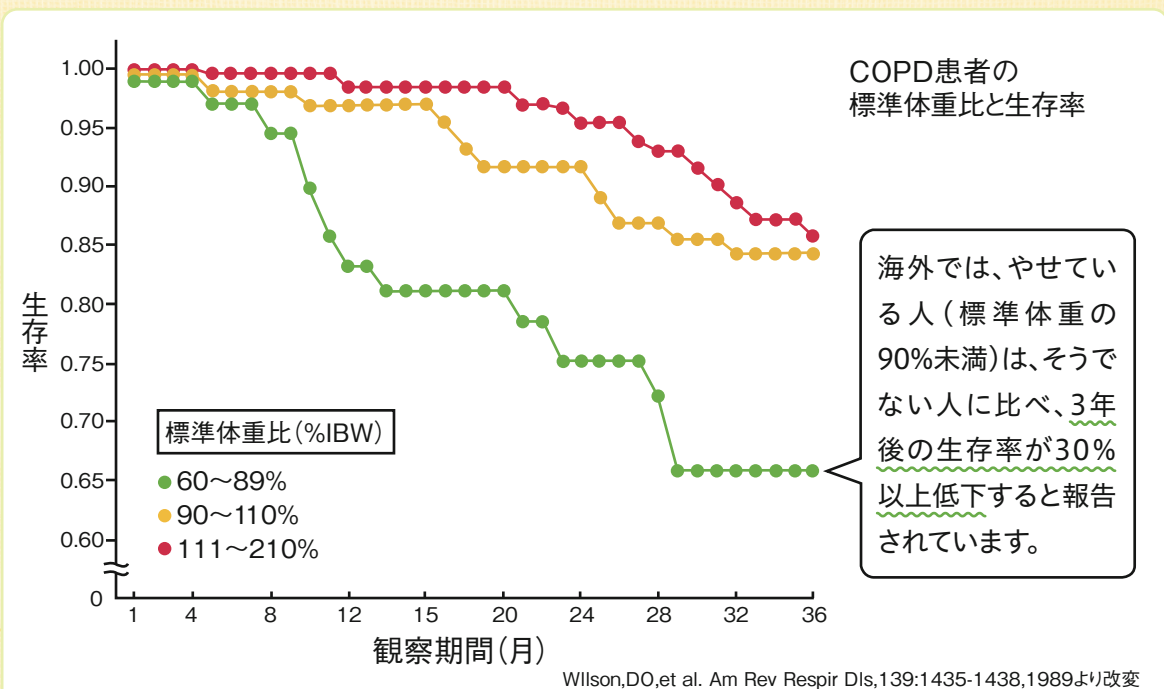
COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは?

COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは、気道や肺の細胞などが壊れることによって、肺の機能が悪くなり、スムーズに呼吸ができなくなる病気です。呼吸に使う筋肉が落ちているため、呼吸時にたくさんのエネルギーを使います。そのため、健康な人よりも多くの食事量が必要になります。ところが、食事量の低下や、胃腸の働きの低下により上手く食事がとれず、やせていく傾向にあります。



Q なぜ「やせ」てはいけないの?

COPD患者さんは体重が減ると予後が悪い(余命が短くなる)ことが報告されています。そのため、しっかりと食事をとることが大切です。



COPDでは、このような「食欲が減る→やせる→筋力が低下する→息がきれる→動かなくなる→食欲が減る」という悪循環に陥らないようにし、しっかりと食事をするのが大切です。

